

平成27年大分県観光統計調査(1月～12月・確報)の概要

平成29年6月30日

大分県企画振興部 観光・地域局 観光・地域振興課

- ・平成27年の宿泊客数は457万人で、前年比+4.7%と、平成26年、平成25年に続き増加した。
(参考：平成26年実績の前年比+1.3%、平成25年実績の前年比+3.7%)
- ・宿泊客のうち、国内宿泊客数は402万人で、前年比△0.1%と、ほぼ前年並みとなった。
居住地別では、福岡県からの宿泊客が最も多く、次いで大分県内、その他九州(県内・福岡県除く)・沖縄からの宿泊客の順であった。
- ・外国人宿泊客数は56万人で、対前年比+61.2%と大きく増加した。国籍・地域別では、韓国からの宿泊客が最も多く、次いで台湾、香港の順であった。

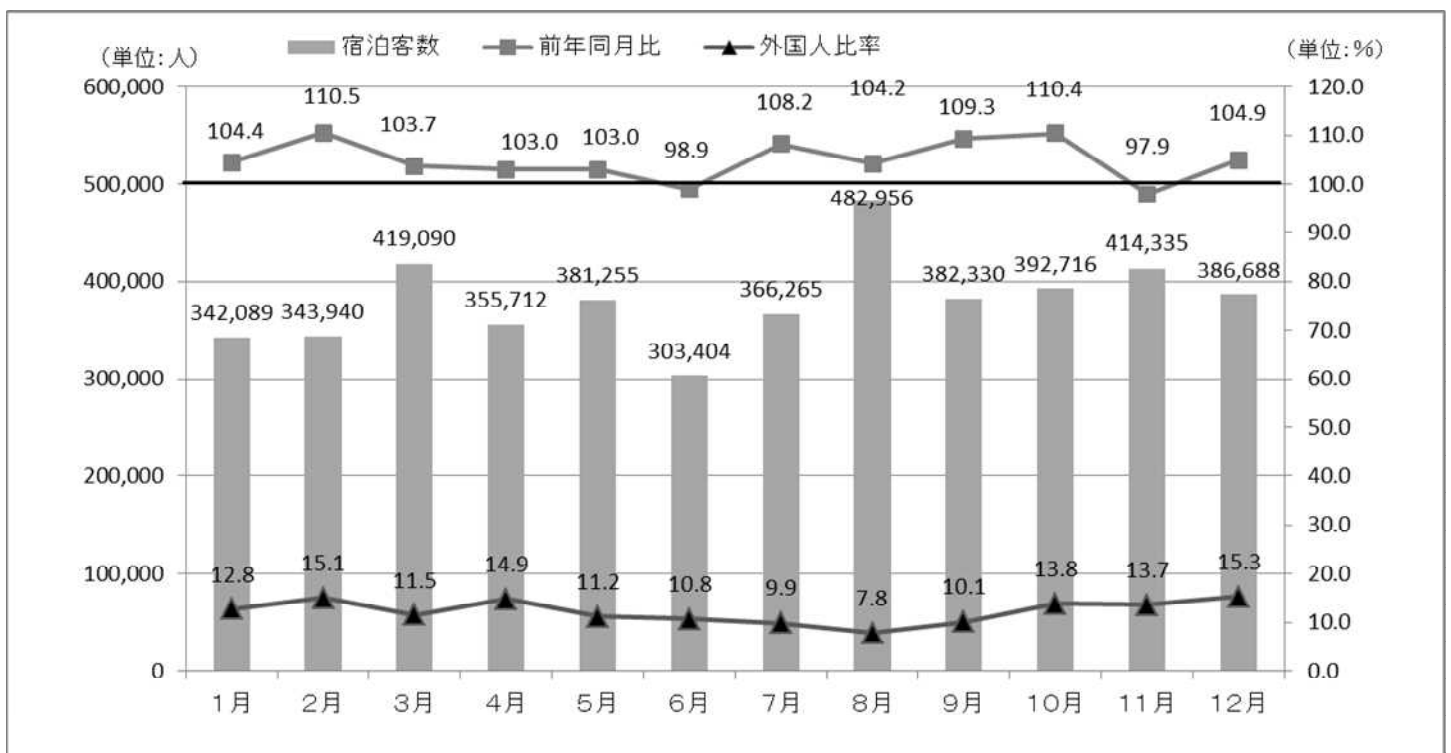
1 平成27年の県内宿泊客の動向

平成27年の県内における宿泊客数は457万人で、平成26年と比べ4.7%増加した。

月別推移を見ると、6月と11月を除いた全ての月で前年同月を上回っている。【図表1】

また、宿泊客数に占める外国人の割合を見ると、7月や8月など国内客が伸びる時期を除けば、12～13%程度で推移しており、県内における宿泊客の約8人に1人は外国人客となっている。

【図表1】平成27年月別宿泊客数(確報)



2 国内宿泊客の動向

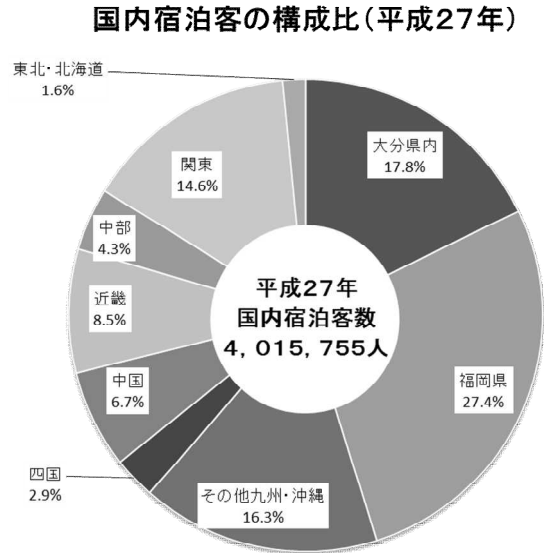
平成27年の国内宿泊客数は402万人で、平成26年と比べ0.1%減少した。【図表2】

月別推移を見ると、3月～6月にかけて減少が見られたものの、7月以降増加に転じ、年計ではほぼ前年並みとなった。7月以降の増加要因としては、JR九州デスティネーションキャンペーン（7月～9月）の効果が考えられる。【図表3】

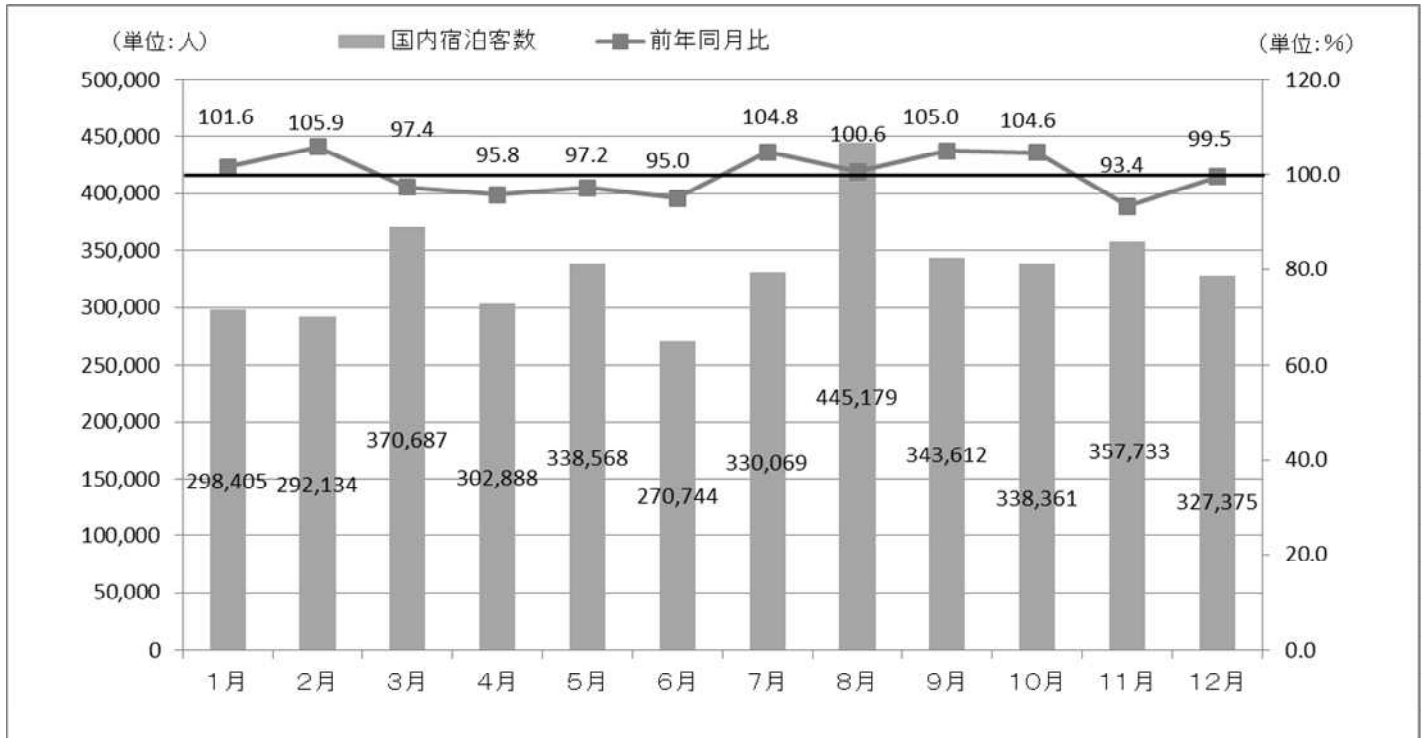
発地別に見ると、福岡県からの宿泊客数は110万人で最も多く27.4%を占め、次いで大分県内が17.8%、その他九州・沖縄16.3%の順となっており、近隣からが6割以上を占める。また、発地別の前年比を見ると、福岡県やその他九州・沖縄、四国、中国からの宿泊は好調であったが、他の地域では前年を下回った。【図表2】

【図表2】 国内発地別宿泊客数および構成比

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)
大分県内	713,420	95.6
福岡県	1,099,429	103.8
その他九州・沖縄	654,933	104.9
四国	116,230	107.6
中国	268,440	107.5
近畿	340,182	92.2
中部	174,191	94.6
関東	586,070	97.3
東北・北海道	62,860	81.1
国内小計	4,015,755	99.9



【図表3】 平成27年月別国内宿泊客数



3 外国人宿泊客の動向

平成27年の外国人宿泊客数は56万人で、平成26年と比べ61.2%増加した。【図表4】

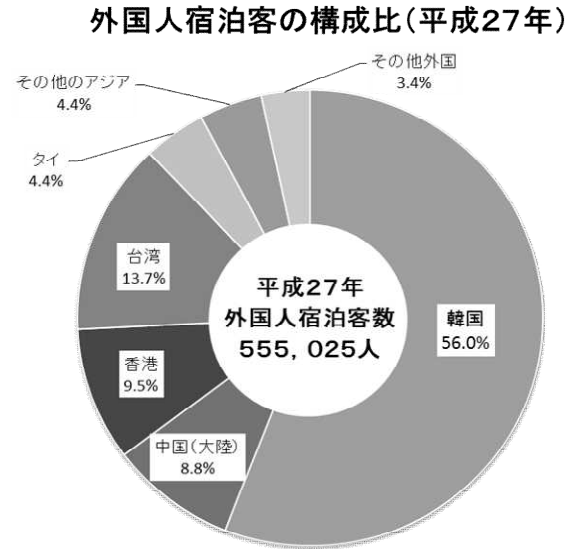
月別推移を見ると、全ての月で前年を大幅に上回って推移している。背景には、円安の進行やビザ発給緩和、LCC¹の就航や免税制度の拡充などがあると考えられる。【図表5】

外国人宿泊客の国籍別構成比をみると、韓国からの宿泊客が31万人と最も多く、外国人宿泊客全体の56.0%を占める。次いで台湾、香港の順となっており、中国も含めた東アジア圏で9割弱を占めている。【図表4】

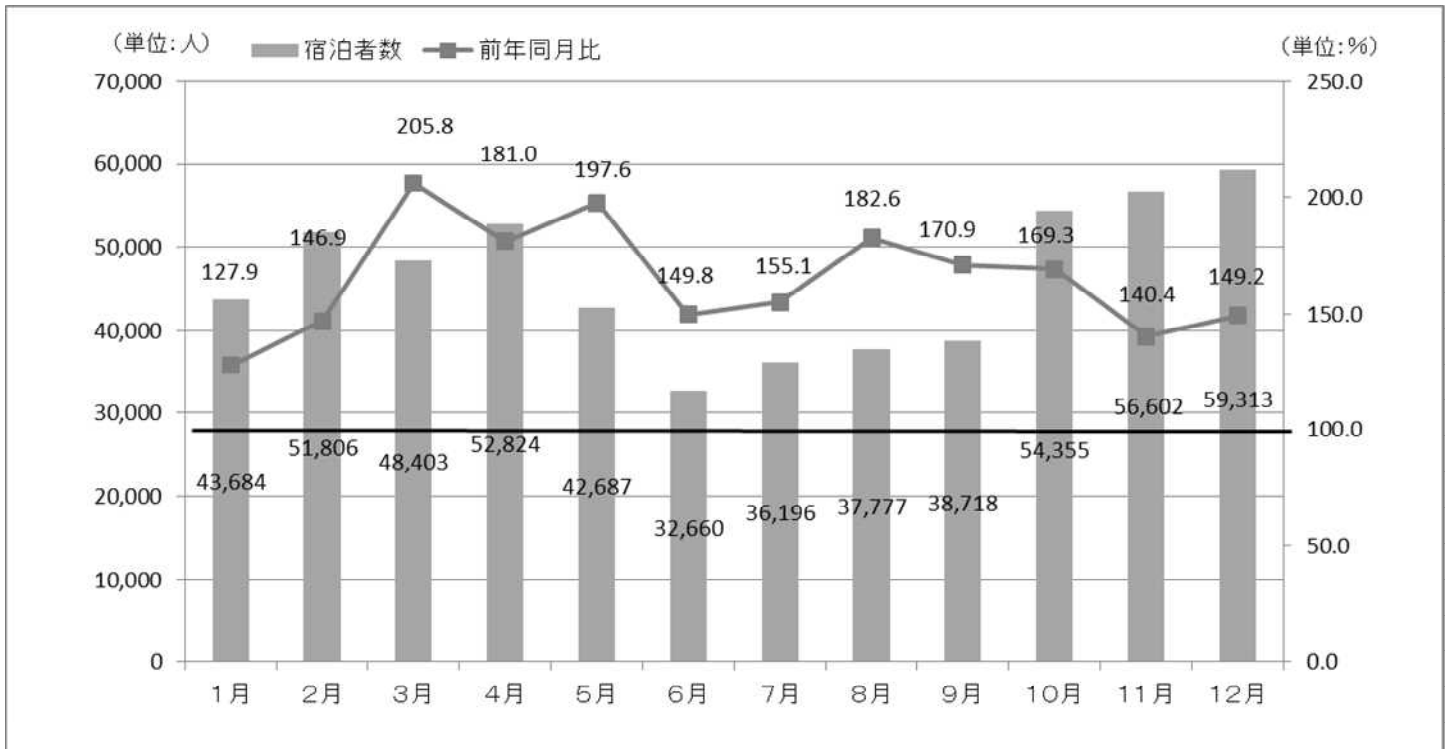
【図表4】外国人発地別宿泊客数および構成比

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)
韓国	310,588	167.1
中国(大陸)	48,780	317.0
香港	52,454	167.4
台湾	75,892	134.9
タイ	24,217	119.1
その他のアジア	24,382	119.1
その他外国	18,712	126.9
外国小計	555,025	161.2

※平成27年よりタイを分離して計上。



【図表5】平成27年月別外国人宿泊客数



¹ LCC Low-cost carrier の略。格安航空会社をいう。

4 市町村別宿泊客

平成27年の県内宿泊客数を市町村別に見ると、最も多いのは別府市で221万人となっており、全体の48.4%を占める。前年比では大分市、別府市、日田市、由布市、九重町が増加している。【図表6】

【図表6】市町村別宿泊客数

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)	構成比 (%)
大分市	865,793	111.3	18.9
別府市	2,210,901	104.0	48.4
日田市	294,318	109.6	6.4
竹田市	125,471	98.5	2.7
由布市	320,974	106.2	7.0
九重町	120,034	101.6	2.6
その他の市町村	633,289	98.3	13.9
県計	4,570,780	104.7	100.0

5 県内交流客数

大分県観光統計調査では、県内交流客数として、有料観光施設の入場者数や道の駅レジ打ち数等の項目について調査しており、その結果は以下のとおりとなった。

東九州自動車道の県内全線開通（3月）や、大分駅ビル開業、県立美術館開館（ともに4月）などに伴い、人の流れも活発化しているものと考えられる。

・ 有料観光施設(入場者数)	6,507,067人 (対前年比 +22.2%)
・ 道の駅 (レジ打ち数)	4,446,880回 (同 +6.6%)
・ 大分空港(乗降客数)	1,829,562人 (同 +6.9%)
・ 県内港湾乗降客数	1,651,821人 (同 -3.6%)
・ 高速道路(1日の出入通過台数)	101,056台 (同 +0.3%)

【参考】調査対象有料観光施設²(合計30施設)

屋内施設(15施設)	市町村
大分マリンパレス水族館「うみたまご」	大分市
大分県立美術館	
大分市立美術館	
スギノイパレス	別府市
アクアビート	
福沢旧居・資料館	中津市
サッポロビール九州日田工場	日田市
地底博物館鯛生金山	
大分県マリンカルチャーセンター	佐伯市
滝廉太郎記念館	竹田市
富貴寺	豊後高田市
安心院葡萄酒工房	宇佐市
朝倉文夫記念館	豊後大野市
九州湯布院民芸村	由布市
国東市歴史体験学習館「弥生のムラ」	国東市

屋外施設(15施設)	市町村
高崎山自然動物園	大分市
別府地獄組合	別府市
別府ロープウェイ	
城島高原パーク	
別府ラクテンチ	
臼杵石仏	臼杵市
風連鍾乳洞	
くじゅう花公園	竹田市
岡城跡	
昭和の町	
熊野磨崖仏	豊後高田市
真木大堂	
九州自然動物公園アフリカンサファリ	宇佐市
稲積水中鍾乳洞	豊後大野市
ハーモニーランド	日出町

² 平成27年調査から、大分県立美術館、大分市美術館を対象施設として追加した。